

第10回（2008年度）サー・マーティン・ウッド賞 受賞候補者推薦要項

サー・マーティン・ウッド賞選考委員会

1. 趣 旨 凝縮系科学に係わる若手研究者に対して研究のインセンティブ、モチベーションを与えます。
2. 対象分野 広い意味の凝縮系科学（例：凝縮系物理学、無機・有機固体化学、材料科学、表面・界面科学）
3. 候補者 日本における研究機関で、凝縮系科学における優れた業績をあげた40歳以下（2008年4月1日現在）の若手研究者。国籍は問わない。
4. 賞の内容 受賞は毎年1件ないし2件とし、受賞者には賞状、賞金50万円と英国のいくつかの大学への講演旅行の機会が与えられます。
5. 推薦依頼先 関係専門分野の有識者、関連諸学会
6. 推薦件数 各推薦者（研究室）推薦団体からそれぞれ一件とします。
7. 推薦方法 所定の推薦用紙に必要事項をご記入の上、締切期日までに到着するよう下記事務局にお送り下さい。
自薦も受け付けております。自薦、他薦共に、候補者の業績内容を最も良く理解していると考えられ、当方より問い合わせ照会のできる2名の方（推薦者以外の方）の氏名、所属、肩書き、連絡先を記入して下さい。
8. 締切期日 2008年8月1日（金）
9. 選 考 サー・マーティン・ウッド賞選考委員会にて審査、選考します。
10. 決 定 2008年9月の予定です。
11. 賞の贈呈 2008年11月に英国大使館で行う予定です。
12. 推薦書提出先及び連絡先
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-6
オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社内
ミレニアム・サイエンス・フォーラム事務局
TEL : 03-5245-3261 FAX : 03-5245-4466
E-mail : msf@oxinst.com
<http://www.msforum.jp/>

ミレニアム・サイエンス・フォーラムのご紹介

ミレニアム・サイエンス・フォーラム会長
東京大学 名誉教授 三浦 登

開催趣旨

1999年3月、日英の科学技術交流の為のフォーラム、『ミレニアム・サイエンス・フォーラム』(Millennium Science Forum)が創設されました。

「Millennium」は“至福千年期”、“待ち望まれる理想的な時代”といった意味であり、21世紀に向けて、更なる科学技術の発展を期して名付けられました。

目的

フォーラムの目的は、次の3点となります。

1. 日本において凝縮系科学(Condensed Matter Science)に関する科学技術研究に従事される研究者の方々に交流の場を設けること。
2. 凝縮系科学に係る若手研究者に対してインセンティブとモチベーションを与えること。
3. 日英の科学技術交流の場を増やすこと。

活動内容

フォーラムの活動として、年1回、英国大使館において日英からゲストスピーカーを招き、サイエンスフォーラムを開催します。

日本における若手研究者の研究活動促進の一助として、『サー・マーティン・ウッド賞』(Sir Martin Wood Prize)を設け、フォーラムにおいて、受賞者を発表し、表彰します。(サー・マーティン・ウッドとは、この賞のサポーターである英国の科学研究機器メーカー、オックスフォード・インストゥルメンツplc創業者の名前です。)

主催及び後援、協賛

*主催：ミレニアム・サイエンス・フォーラム運営委員

三浦 登	東京大学 名誉教授
北澤 宏一	科学技術振興機構 理事長
遠藤 康夫	東北大学 名誉教授
外村 彰	株式会社日立製作所 フェロー
川合 真紀	東京大学大学院 教授
西村 吉雄	東京工業大学 監事

*後援：英国大使館、ブリティッシュカウンシル、読売新聞社、日本科学技術ジャーナリスト会議、日本物理学会、応用物理学会、日本化学会、日本金属学会、日本結晶学会、日本放射光学会、日本応用磁気学会、日本中性子科学会、日本表面科学会、低温工学協会、英国物理学会、文部科学省(2008年度認可予定)

*協賛：オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社

これまでの活動

- * 第1回フォーラム(1999年3月9日)英国大使館 New Hallにて開催
特別ゲスト: アン王女
ゲストスピーカー: Sir Peter Williams (Particle Physics and Astronomy Research Council/議長)
小林俊一氏/理化学研究所理事長
特別賞: 安岡弘志氏/東京大学物性研究所所長

- * 第2回フォーラム(1999年11月17日)英国大使館 New Hallにて開催
第1回サー・マーティン・ウッド賞受賞者: 中村泰信氏/日本電気株式会社基礎研究所主任
ゲストスピーカー: Sir Martin Wood/オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社副会長
有馬朗人氏/参議院議員(前 文部大臣、科学技術庁長官)

- * 第3回フォーラム(2000年11月10日)英国大使館 New Hallにて開催
第2回サー・マーティン・ウッド賞受賞者: 清水克哉氏/大阪大学大学院助手
木塚徳志氏/名古屋大学講師
ゲストスピーカー: 江崎玲於奈氏(ノーベル物理学賞受賞者)/芝浦工業大学学長

- * 第4回フォーラム(2001年11月14日)英国大使館大使公邸にて開催
第3回サー・マーティン・ウッド賞受賞者: 白濱圭也氏/慶應義塾大学助教授
ゲストスピーカー: Lord Robert May/Oxford大学教授(Royal Society会長)
毛利衛氏/日本科学未来館館長

- * 第5回フォーラム(2002年10月30日)英国大使館大使公邸にて開催
第4回サー・マーティン・ウッド賞受賞者: 寺崎一郎氏/早稲田大学助教授
ゲストスピーカー: Sir Harold Kroto(ノーベル化学賞受賞者)/Sussex大学教授
金森順次郎氏/国際高等研究所所長

- * 第6回フォーラム(2003年11月26日)英国大使館大使公邸にて開催
第5回サー・マーティン・ウッド賞受賞者: 藤澤利正氏/NTT物性科学基礎研究所特別研究員
ゲストスピーカー: Robin Nicholas氏/Oxford大学教授
飯島澄男氏/名城大学教授

- * 第7回フォーラム(2004年11月10日)英国大使館大使公邸にて開催
第6回サー・マーティン・ウッド賞受賞者: 大野裕三氏/東北大学電気通信研究所助教授
ゲストスピーカー: Lord Robert May/Oxford大学教授(Royal Society会長)
外村彰氏/株式会社日立製作所フェロー

- * 第8回フォーラム(2005年11月15日)英国大使館大使公邸にて開催
第7回サー・マーティン・ウッド賞受賞者: 木村剛氏/米国ルーセント・テクノロジーズ社ベル研究所研究員

ゲストスピーカー：Laurence Eaves氏/Nottingham大学教授
田中昭二氏/財団法人国際超電導産業技術研究センター超電導工学研
究所所長

* 第9回フォーラム（2006年11月14日）国際文化会館（東京都港区）にて開催
第8回サー・マーティン・ウッド賞受賞者：末永和知氏/産業技術総合研究所
ナノカーボン研究センター 研究チーム長

ゲストスピーカー：Martyn Chamberlain氏/Durham大学教授
川合真紀氏/東京大学大学院教授

* 第10回フォーラム（2007年11月14日）英国大使館大使公邸にて開催
第9回サー・マーティン・ウッド賞受賞者：大友明氏/東北大学金属材料研究所助教
ゲストスピーカー：Maurice Skolnick氏/Sheffield大学教授
黒川清氏/政策研究大学院大学教授、内閣特別顧問

サー・マーティン・ウッド賞

日本の研究機関において凝縮系科学（凝縮系物理学、無機・有機固体化学、材料科学、表面・界面科学など）における優れた業績をあげた40歳以下の若手研究者（毎年1～2名）に贈られます。また、受賞者には、賞状、賞金の他、英国の大学への講演旅行の機会が与えられます。

本賞はサー・マーティン・ウッド賞選考委員会の厳正なる審査により、決定いたします。

サー・マーティン・ウッド賞選考委員会

委員長	福山 秀敏	東京理科大学 総合研究機構長
	川合 知二	大阪大学産業科学研究所 教授
	十倉 好紀	東京大学大学院 教授
	樽茶 清悟	東京大学大学院 教授
	大野 英男	東北大学電気通信研究所 教授
	北岡 良雄	大阪大学大学院 教授
	三宅 和正	大阪大学大学院 教授
	小林 速男	日本大学 客員教授